※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music　（教育芸術社）						
副教材等	合唱楽譜　ミュージックノート（教育芸術社）　自主教材プリン						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を通して学習します。・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、学習プリント、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。・音楽の学習は様々な経験を通してこそ価値のある物であり、感性が豊かになります。・音楽が将来にわたって、皆さんの心の支えと成り、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して､生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てると共に、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。
(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに,創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら，個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を磨き，音楽文化を尊重し，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて、表現意図を持っている。 音楽形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	創意工夫をいかした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	日本や外国の歌曲を歌う	【歌唱】ソルフェージュ 日本、外国の歌曲の独唱	a:自分の声の特徴を活かして、豊かな表現に努めたか。・歌詞の意味を理解し、より美しく歌おうとしている。 b:楽曲にふさわしい豊かな表現を工夫し、表現方法を追究しようとしている。 c:楽曲構成を把握し、リズム、フレーズなどを正しく表現できる。 a:楽曲の特徴をつかみながら、そのよさや美しさを味わっている。	学習プリント、ノート	演奏の聴取	観察

※令和４年度以降入学生用

	ギター演奏	【器楽】 ギター弾き歌い	a:基礎練習を丁寧に行い、一つ一つの課題に前向きに取り組み、努力をしている。 b:伴奏のパターンを聴き取って理解し、スムーズなコード進行を意図している。 ｃ:ギター伴奏パターンの手法を生かして、曲想にあった伴奏を演奏することができる。	学習プリント、ノート	演奏の聴取	観察
	総合芸術を知る	【鑑賞】様々な総合芸術作品	a:総合芸術中のあらゆる芸術要素に、興味・関心をもって鑑賞する。 b:総合芸術の中のあらゆる芸術要素に気づき、それぞれの特徴を感じ取ることができる。 a:総合芸術の歴史的背景を踏まえ、それぞれの芸術的特徴や技法について理解することができる。	学習プリント、ノート	演奏の聴取	観察
	アンサンブル	【器楽】 さまざま楽器形態によるアンサンブル	a:楽譜を見て、音高やリズム、フレーズなどに関心をもち、意欲的に演奏をしている。 b:他のパートの演奏を聴きながら、美しくアンサンブルできるように、音色やタイミング、音のバランスに注意して演奏表現している。 c:より美しいアンサンブルをするために、音色を追求し、他のパートとのバランスに注意しながら表現することができる。 a:さまざなまアンサンブルを聴き、自らの演奏に生かそうと表現の工夫などを分析的に聴くことができる。	ノート	演奏の聴取	観察

※令和４年度以降入学生用

	ハーモニーを作る	【歌唱】混声合唱曲を歌う	a:各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしい合唱表現をしようとしている。 b:各パートの重なりや音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら音楽表現を工夫している。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し、楽曲にふさわしい音楽表現になるように工夫している。 c:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するための技能を身につけ、創造的に表現している。 a:各パートの役割や音の重なり方、演奏者による表現の特徴やよさを味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた表現活動に生かしている。	ノート 発表	演奏の聴取	観察
	創造的な表現	【創作】童謡の伴奏付け	a:童謡にふさわしい伴奏付けに意欲的である。 b:童謡のメロディーやフレーズにふさわしい伴奏を創造的に工夫している。 c:童謡の伴奏付けをするための理論、記譜法や演奏技術を身につけている。	学習プリント	演奏の聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度